

成長過程のクリスチャンのための10の鍵

6. 交わりーチヨウによって羽ばたく

交わりを持つべき場所について祈ろう。あなたが行っている場所は、教会を家と呼び、罪であることを罪と呼んでいるだろうか？神の約束を信じているだろうか？互いに愛し合っているだろうか？牧師は尊敬をもって妻に接しているだろうか？彼はみことばの人だろうか？彼はへりくだりの心と穏やかな霊をもっているだろうか？彼の教えをよく聞こう。その教えは、神に栄光を帰し、イエスをほめたたえ、信者を啓発するものでなければならぬ。あなたが本当に救われているという一つの証拠は、他のクリスチャンに対する愛があるかどうかである。(1ヨハネ3:14) 人々と交わりを持ちたいと願わずである。

“類は友を呼ぶ”という古いことわざは、クリスチャンに当てはまっている。私たちは集まって、ともにパンを裂き(聖餐式)、みことばから教えられ、交わりの時をもつ。同じ靈感、啓明、好み、誘惑、熱望、動機、汗を分かち合う。同じことのために、この地に神の国が前進するために、ともに働いている。それゆえ、私たちは教会に集つ

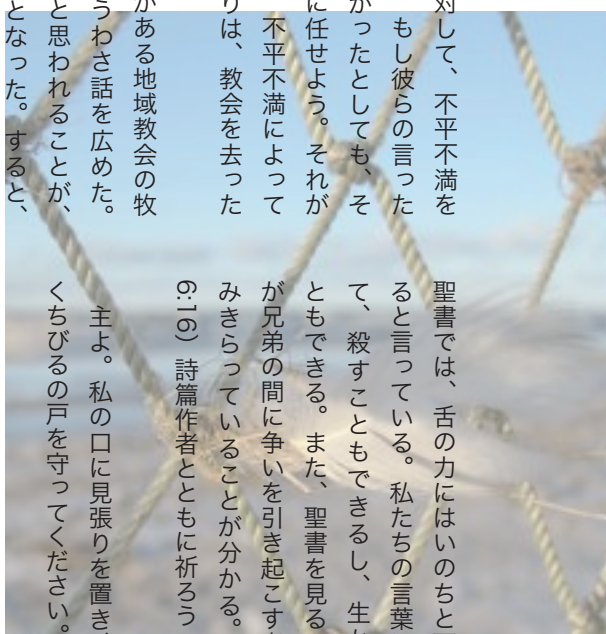
行かなければならないのではなく、行きたいからである。

“霊的なチヨウ”になつてはいけな。深く根ざそう。もし教会から教会へと移動しているなら、牧師は、あなたがどんな食べ物消化しているかを、どのようにして知るのだろうか？聖書には、神はあなたを羊飼いに任せただので、彼らは神に弁明しなければならぬとある。(ヘブル13:17) だから、あなたのことを牧師に知ってもらおう。彼のために定期的に祈ろう。彼の妻や家族、長老たちのために祈ろう。牧師でいるということは、そんな簡単な仕事ではない。

毎週新しい説教を作るために、どれほどの時間を費やしているのか、多くの人が理解していない。祈りやみことばの学びのために費やされる時間のゆえに、感謝することはない。もし牧師が同じ冗談を度言つたとしても、以前分かち合ったことをもう一度分かち合ったとしても、牧師も人間だということをお忘れはいけない。だからこそ、牧師にたくさんの恵みと倍の敬意を

与えよう。彼らに対して、不平不満を言つてはいけない。もし彼らの言ったことが気に入らなかつたとしても、そのことを祈り、神に任せよう。それが満足できないなら、不平不満によって分裂をもたらすよりは、教会を去つた方がいい。

かつて、ある女性がある地域教会の牧師に関する激しいうわさ話を広めた。彼がしたであろうと思われることが、町中で周知の事実となった。すると、彼女の聞いたことが嘘だつたということが分かつた。彼女は勇気をもって牧師のもとに行き、赦しを求めた。牧師は赦したが、彼女に小さな羽がたくさん入った枕を町の角に持って行き、激しい風の中で羽を振つて出すようにと言つた。それから、すべての羽を拾い集めるようにと言つた。すでに損害を被つてしまったことを牧師は説明した。彼の良い評判を打ち砕いてしまつたので、損害を修復するのは激しい風の中で羽を拾い集めるようなものだった。



聖書では、舌の力にはいのちと死があると言っている。私たちの言葉によつて、殺すこともできるし、生かすこともできる。また、聖書を見ると、神が兄弟の間に争いを引き起こす者を忌みきらっていることが分かる。(箴言9:16) 詩篇作者とともに祈ろう…

主よ。私の口に見張りを置き、私にくちびるの戸を守ってください。

古いことわざを覚えよう…

あなたにうわさ話をする人は、あなたのこともうわさ話する。